

グリーンスローモビリティ実証実験の実施について

■ 背景・これまでの経緯

- ・高齢化の進展に伴い、バス停や周辺施設までの移動需要の増加が見込まれる
- ・バス運転手等の担い手不足により、地域主体の共助の取組の重要性が高まっている
- ・令和7年度では浦和区針ヶ谷・北浦和地区で実証実験を実施し、買物等の日常生活の移動手段としての有用性は確認できたが、運営体制の課題も明らかとなった

■ 令和8年度実証実験の目的

- ・運転手の手配等の事業運営を地域が担う共助の取り組みを実施し、以下を検証
- ①地域特性を踏まえた導入効果や運営方法の課題を検証
- ②費用対効果や持続可能性等を把握し、適切な事業のあり方を検証

■ 実施内容

項目	実施内容	
	令和7年度	令和8年度
対象地域	3エリア (浦和針ヶ谷・北浦和地区を3分割して実施)	3⇒2エリア (南区大谷口地区、岩槻区小溝地区、大宮区高鼻地区)
実証期間	各地区1ヶ月程度 針ヶ谷地区:令和7年10月6～13日 北浦和地区:令和7年11月4～28日 西側地区:令和7年12月1～19日	各地区2週間程度 (南区大谷口地区:令和8年10月上旬頃 岩槻区小溝地区:令和9年1月下旬頃 大宮区高鼻地区:運転リスク、運転手確保を理由にR8.7.14辞退)
対象者	長距離徒歩移動が困難で 買い物・通院等を目的とした高齢者	同左
運賃	無償	同左
予約	不要	同左
運転手	市役所	地元
車両手配	市役所	同左
車庫手配	市役所	地元
WS・説明会 運営	市役所	地元(市役所が補助)
分析	市役所	同左

■ 使用車両(予定)

製造元/名称	ヤマハ発動機株式会社/AR-07
自動車の種別	小型自動車 ※普通免許で運転可
乗車定員	7名(運転手と地域サポーターが同乗するため、乗客5名定員)
車両サイズ	全長3,955mm/全幅1,354mm /全高1,837mm
最小回転半径	4.5m
最高速度	19km/h
充電方式	車載式定電流充電器(单相200V)
航続距離	満充電時30～40km ※走行環境によって異なる
充電時間	8時間程度 ※走行環境によって異なる



■ 検証項目

- ①ヒト:運営・運転手・サポーターの手配
→地元主体での運営が可能か、今後通年を通して運転手・サポーターの手配が可能か
- ②モノ:適切な車両条件
→移動手段として上記車両の課題を整理、適切な車両の選択
- ③カネ:運行経費を踏まえた費用対効果
→1人あたりの運行経費を算出し、他の交通モードと比較した評価
- ④その他:安全性・既存公共交通への影響を踏まえた運行ルール整理
→駅前ロータリーへの進入・通行の可否、バス路線との重複等、の運行ルール整理

■ 今後の予定

- ・今年度実証実験結果を踏まえ、今後の事業のあり方を検証する

グリーンスローモビリティ実証実験の実施について

参考) 各地区の交通状況

■南区大谷口地区



■岩槻区小溝地区

